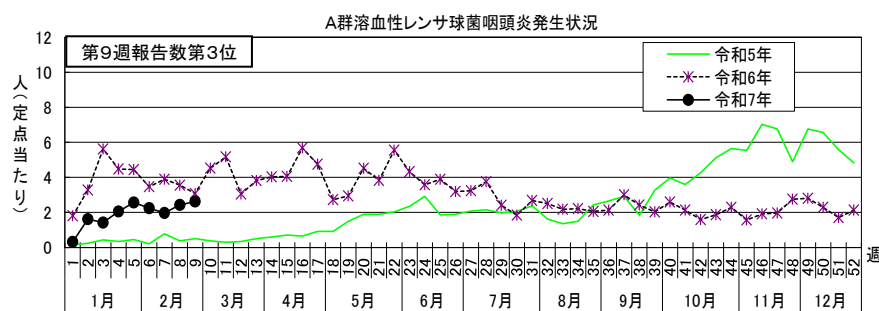
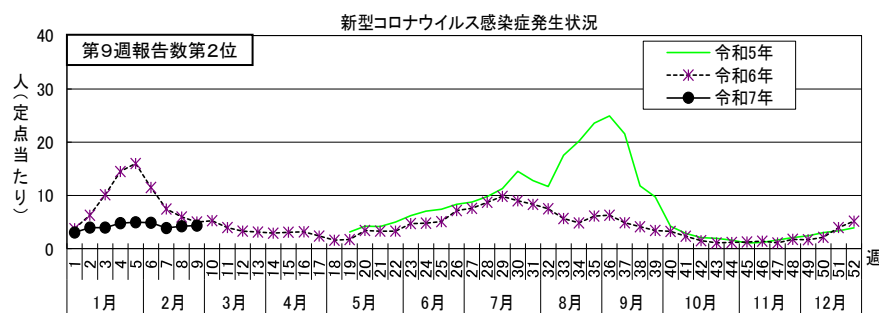
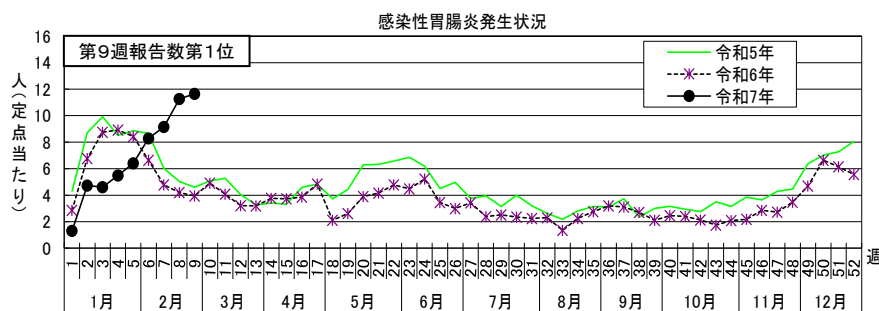


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和7年2月24日（月）～令和7年3月2日（日）〔令和7年第9週〕の感染症発生状況

第9週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）感染性胃腸炎 2）新型コロナウイルス感染症 3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は11.65人と前週（11.27人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は4.34人と前週（4.23人）から横ばいでした。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.62人と前週（2.43人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



知っていますか～麻しん（はしか）～

麻しんは、麻しんウイルスを原因とする急性感染症で、免疫のない人が感染するとほぼ100%発症し、重症化すると死亡することもあります。

国内では麻しんは排除状態にありますが、渡航者が増加した令和5年以降、報告数が増加しており、特に令和7年2月中旬以降は、渡航先で感染した事例の報告が相次いでいます。また、麻しんウイルスは感染力が非常に強いいため、渡航先で感染した患者と同じ公共交通機関を利用したことで感染した事例もみられています。

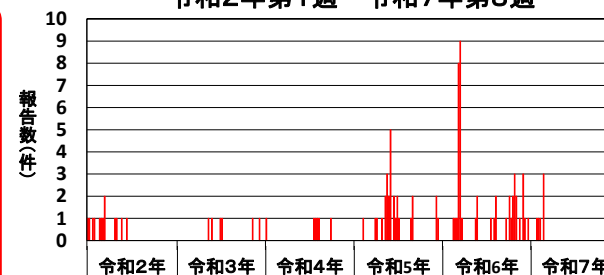
麻しんを予防するためにはワクチン接種が有効であり、2回接種による免疫獲得率は97%～99%以上とされています。定期予防接種の対象年齢を確認し、忘れずに接種を受けましょう。

麻しんとは？

- 【感染経路】 飛沫感染、接触感染、空気感染
- 【潜伏期間】 10～12日
- 【症状】 発熱、咳、鼻汁、発しん、結膜充血等
- 【合併症】 肺炎、中耳炎、脳炎
- 【予防対策】 麻しん含有ワクチン（MRワクチン）の接種



国内における麻しんの発生状況
 ー令和2年第1週～令和7年第8週ー



麻しん・風しん(MR)定期予防接種の対象者

- 【第1期】 生後12月から生後24月に至るまでの間にある者
- 【第2期】 小学校入学前の年度1年間（4月1日～翌年3月31日）